

うちゅうせん新聞

広報係 08年6月14日(土)発行 1号

仙台市天文ボランティア会報

“うちゅうせん”全体会 [2007年度締めくくり]

観望会が多かった1年・依頼観望会31回実施!

3月15日(土)13:30~16:00 参加者17名

天文台閉館に伴い場所を探しながら毎月の例会を実施してきましたが全体会は終了後の打上げも考慮し、広瀬通駅出口すぐの市民活動サポートセンタ3F研修室で開催しました。前半は通常の全体会で各係からの活動報告のまとめ、課題、提案等についての議題が話し合われました。主な変更点は観望係と研修係の統合、未連絡者は退会扱いとすることで20年度乗船員は35名(うち休会者8名)と近年では顔ぶれが大きく変わりました。(議事録配布済みのため詳細省略)

15時以降の後半は天文同好会の皆さんも交えて、新天文台の台長、副台長からの今後の予定と、運営方針の説明があり、引き続き意見交換が行われました。主な内容としてサポーターズルームの使用や、学習室、望遠鏡利用について、また内覧会等も実施するので、モニタとして意見や提案を頂きたいとの回答がありました。これらにより、7月からの新拠点での活動がより身近に感じられ開館が待ち遠しくなりました。皆さん、お疲れ様でした!



天文台運営についての意見交換



2008年も半年が過ぎようとしています。来月には新天文台がオープン!「うちゅうせん」の新たなステージとなっていくのか?新体制の新聞で、お知らせしていきたいと思ひます。(編集部)

例会より

4月12日(土) 14:00~16:00 出席者11名

全体会后、初めての例会で新たな年度の活気が感じられ、時間いっぱいまで話し合われました。

1、MLについて、現在一般用(すべてのML登録者向け)とPC用(PC受信用)の二つのメニューリストのうち、今後は一般用のみを使用する。PC用は添付ファイルがある場合などに限り使用。携帯電話・PHSでML登録されている方へ、文字数制限などで受信に支障がある方は発信者に内容を確認願ひます。また、発信が深夜の場合も携帯など不都合のある方は受信側で対処願ひます。

2、議事録について、従来は天文台に常備し、来館すればいつでも閲覧できるようにしていましたが、当分の間は常時閲覧はできません。個別の問合わせによる対応も現時点では行いません。閲覧手段は今後検討。

観望会、行事などの情報はMLで告知いたします。3、春の合宿について、定例会で話し合った結果、館ヶ森高原、縁の郷、丸森の3候補が上がり、行き先は館ヶ森高原に決定しました。

日程は5月31日~6月1日(1泊)

案内は近日中、予約の申告は早めにお願ひします。連絡は、総務・企画または掲示板へ書込みでお願ひします。

4、お花見について、13日に予定していましたが参加者が少ないため取りやめました。

5月17日(土) 14:00~16:40 出席者7名

観望会:7,8月実施のラフォーレ蔵王の参加体制、参加者確認、現状での依頼状況。

春合宿:参加者、日帰りの扱い等金額確認、た口従来、新人の顔合わせ的な要素が強かった春の合宿ですが、ボランティア養成講座が無く、花見等行事が中止になっている現状について、今後のあり方についての話し合いがありました。拠点となる新天文台ができるまでの辛抱でしょうか?

8月1日に起こる皆既日食の話題から過去のツアー、今後の予定まで本日、一番盛り上がりました。

観望会より

亘理町図書館(悠里館)観望会 4月12日(土) 18:30~20:10(うちゅうせん6名、参加者70名)

年間シリーズで開催する観望会の3年目、昨年から引続きで残念ながら曇天でした。なお、桜は満開でした。

<曇天バージョン>

今月の星空・星座物語

ビンゴゲーム

(景品:新・星座しおり)

太陽系惑星の投影と説明

駐車場に出て望遠鏡を擬似観望して終了。

【スタッフ感想】例会会場から亘理へ直行でした。到着後、薄暮の高い空に上弦1日前の月を見ながら望遠鏡を設置。曇りの予報でしたが今日はお見せ出来るな~と思って?

まずは館内でこれから見る月・土星などの話をしているところで携帯電話が鳴りました。雲が出て来て月も土星も見えなくなり絶望的・と外からの連絡でした。その事を告げた時の参加者の落胆には大きい物が有りましたが、これだけはどうしようも有りません。

急遽、ビンゴゲームを実施し、質問コーナーをして多少早目の終了となりました。外に出てから満開の夜桜やはるか遠くの仙台のTV塔などを望遠鏡で見てもいいですが、子供も大人も大喜びでした。次回(11月)は晴れる事を期待したいと思います。

七郷市民センター観望会 5月17日(土) 19:00~20:30(うちゅうせん4名、参加者43名)

自己紹介、今月の星空の説明のあと外へ・・・。月齢12の月と土星、北極星、北斗七星などをたっぷりと楽しみました。やはり土星が大人気でした。もうすぐ輪が見えなくなってしまうということもみなさんの興味を引いた様子。

1時間近く見た後、部屋に戻って質問コーナー。土星の輪はどうしてできたか、人は住めるのかなどという質問に船長がていねいに答えていました。最後に大人には星座便箋、子供にはシールを配って終了。

幼稚園児と小学校低学年が多い観望会でしたが、お父さんの参加率も高く、永井さんの土星の話などを熱心に、聞いていたようでした。子育て中のお父さん!宇宙に少し近づけたかな



★イベントより

全体会后の打上げ(18:00~21:30) 参加人数18名

恒例の全体会后の打上げは、新天文台の土佐台長と、小野寺副台長も参加いただき今後の活動に向けた懇親会ともいえる内容で盛り上がりました。全体会終了後2時間程も待ち時間があつたためそれぞれ時間をつぶしたため若干集まりが悪かつたようです。でも、何をしていたか聞いてみると各人の個性が出て面白かつたです。

皆さん、今年度も活動をよろしくお願ひします。

花見 4月13日(土) 中止 前日の例会で決定

春合宿・館ヶ森高原 5月31日6月1日 参加6名

当日は、夜も含め一日中雨でしたので、食べて呑んだだけの合宿となり、特に報告するほどのことありませんが一応、ロケーションに関して報告しておきます。場所は高原であり、周囲は牧場ですから、昨年の秋合宿の地、コスモワールドのような雰囲気です。

お天気が雨で、外に出ませんでしたので、明確には言えませんが、空は暗い印象です。千厩方面の明かりが分かりましたが、周囲に民家等は無く、近くに大きな街もありません。(部屋からは仙台の方向は見えませんでした)まあ、合宿は終わりましたが、仙台から高速を使わずに2時間程度ですので、各自がプライベートな星観に行くには、良い場所と思ひます。

食事はお奨めです(^.^)。

夕食は和食ですが、かなりのボリュームがありますし、美味しいです。郷土料理のはっと汁とか、つきたてのお餅もありました。

朝食には、隣の牧場産らしきソーセージやハムも出ます。

ホテルなので、手ぶらでもOK

ちょっとした観光地

隣は牧場で、牧場産のお肉、ハム、ソーセージ、鹿の肉!^^、手作りパン等の売店、ハーブ等の園芸店、レストランもあります。ハーブ園もあります。競馬ならぬ競豚もやっているそうです。

その隣はサファリパークで、水牛やキリンなどがあるそうです。以上。

【参加者の感想より抜粋】少人数でしたが、たのしく、ゆったり、たっぷり夕食を楽しめました。みなさんありがとうございました。

☆ コラム ☆

夏至の星・見はれかが？

でんきを消してスローな夜を 1,000,000 人のキャンドルライト 6/21(土)夏至～7/7(月)夜 8～10 時

2001 年カナダでの自主停電運動が始まりで、地球温暖化について考え防止するための呼びかけ。スローな夜をテーマに電気を消してロウソクの火で夜を楽しむことを提案し、毎年夏至と冬至前後に行なわれています。みやぎ生協の店舗でも広告塔のライトダウンを実施するそうで、他にも協賛の店もあるかも？そのタイミングにいつもより暗い街で(?)満月後の月を見上げてみる・・・ムーンライトデーとして空を見上げてはいかが？

6月は環境月間です。エコが叫ばれているご時世、夜の暗さも環境のひとつといえるのでは？明るすぎや無駄な灯りを抑えると、エコロジーと星を見る環境の両立が出来て、地球環境を守ることに繋がるのではないのでしょうか。空を見上げながら考えてみたいと思います。終わり by. 世間のナベサト

その他の星空観望会(伝言板への報告より)

しおがま みる会 4月22日(火) 報告 ☆℃

なんとか、や月までみせることができました。まだ明るい午後7時少々前にエスポに到着し、係の人と広報の記事について話し始めたところに、齋藤さんが到着、すぐに、セッティングを開始。齋藤さんは例の32cm忍者。宝示戸は12cm屈折ポルタ。

シリウスが見え始め、すぐに土星も・・・広報係りの女性2人が望遠鏡をのぞきはじめたら、小学生4～5年の子供が5人とおとな6人が集まってきた。

なんとなく、春霞で低いところはかすんでしまっていたが、幸い土星や火星、ミザール、プレセペなどを見せることができた。

そろそろ月が出るころであったが、高いビルがあり、そのため、遅れている。

齋藤さんは、忍者を撤収し、屈折12cmだけをのこした。やっと、終わりの8時45分ころになって、オレンジのまあるい月(16日)が出てきた。屈折を高い台のうえにのせて、見てもらった。最後まで、月の出をまっていた子供5名とおとな4名が「きれいな月」と喜んでくれた。

5月は13日と27日(毎月第2、第4火曜日)に予定しています。遊びに来てください。

新天文台開館 特別講座レポート

宇宙への招待一星・宇宙を身近にー 投稿者：渡辺(宗) 投稿日：2008年4月15日(火)

昨日新天文台オープン記念特別企画である土佐先生の講義「宇宙への招待一星・宇宙を身近に」(NHK文化シタ 定禅寺通教室)の第一回を受講してまいりました。現在の受講者数は19名で、天文台が近所できるのでこの機会に勉強してみたいという方から、今日のために会社を休んで参加したという天文好きの方まで、多彩な顔ぶれでした。

今回は初日という事で少々緊張気味で参加したのですが、土佐先生のプロフィールから始めて、新天文台の情報、いろいろな写真を鑑賞しながら太陽、月、星座などのお話に入る頃にはすっかり肩の力も抜け聞き入っておりました。

また、時折お話が脱線するたびに会場から笑い声もあり、初日という感じがあまりありませんでした。個人的には人類が月に行った証拠として月面に置いてきたレーザー反射鏡のお話が面白かったです。

天文関係の書籍など拝見させて頂いたり、ヴァラエティに富んだ授業を受けてまいりました。授業終了後、皆さん先生に質問などなさっておられたようですが、残念ながら私は時間がギリギリでその余裕はありませんでした。残りの受講、とても楽しみです。土佐先生これからも宜しくお願い致します。

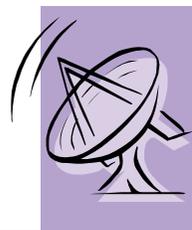
【編集部】

このレポートを読んでうらやましくなりました。新天文台もテレビでしか見てないよな～！

天文知識 yahoo トピックスから

「超新星爆発で生じた明るい光が、周辺のちりに反射して淡い光の「こだま」になり、約3000年遅れて地球に届いた。日米独の研究チームが国立天文台すばる望遠鏡(米ハワイ島)で観測に成功した。」

難しい理論のようですが、きれいなので紹介します。



伝言板の話題(うちゅうせんホームページ)より

(投稿者名等、一部省略しています)

今夜の見も 投稿者：永井 投稿：2008.3.17(月)今夜、かに座の甲羅の中にある散開星団M44プレセペの星々がお月様に隠される現象があります。23時頃から始まり、終了は25時頃です。全部見るのは無理そうなので、途中経過を見る積りです。

かに座は大変控えめな星座で明るい星が無く、更に中心部のプレセペはより暗い星の集合体ですので、街明かりの有る所では肉眼で見る事は難しいでしょう。

双眼鏡・望遠鏡で、と言う事になりますが月が大きい為チャント見えるかどうかの保障は出来ません(笑)

隠れるのは月の暗い方からですので、明るい部分を視野から外して見るなどの工夫が必要でしょう。幸い今夜のお天気は良さそうですので、楽しみです。

普段・かに座は、ふたご座のポルックスからしし座のレグルスへ双眼鏡なり望遠鏡を移動するとその中間辺りにゴチャゴチャした星団を見付ける事が出来ますが、今夜・早い時間帯は月のすぐ東、夜半は重なりますから判り易い事この上無しです。

カニの甲羅の真ん中にゴチャゴチャ見えることから、ふざけて「かに味噌」などと言ったりしますが、プレセペ本来の意味は、かいば桶の事だそうで2頭の口バが銀のかいば桶から干草のかいばを食べている姿を表しているそうです。また「ピーハイブ：蜜蜂の巣」などの呼び名も有るようです。

吉田も見えず(^^;)投稿者：吉田 投稿日：2008.3.18(火)

夕方の永井さんのカキコを見て、よ～し、吉田も挑戦！ということで、23時頃から、フィールドスコープを立てて、眺めておりました。が、眩しくて、私もかに座の1個しか見えず...早々に諦めました...

黄砂がすごいのでしょうか、最近、杉花粉もすごいですよ(^^;)青葉山から、風が吹くたび煙のように立ち昇る花粉を見ると、花粉症じゃなくても、くしゃみが出そうです...



韓国で黄砂の注意報 投稿者： 投稿日：2008.3.19(水)

今朝の6時の韓国のニュースでモンゴルで砂嵐が発生したので、夕方あたりから黄砂がくるとの注意報がありました。

4年ほど前の3月のお彼岸あたりに、ソウルから200kmくらい南の安東という田舎にいきました。のどかな青空のきれいなところでした。泊めてもらった韓国人の友人が明日は黄砂が来ると行っていました。最初何のことかわからなかったです。次の日、車でスーパーに買い物に連れて行ってくれました。すれ違う車がみんな同じ色なのにおどろきました。

日本と時差はおなじですが、一時間くらい日の出がおそいので暗いかなと思っていましたが、なんと、駐車場から見た太陽も、おぼろ月のように、見てもまぶしくなかったです。これが黄砂かとおどろきました。何となくほこりっぽく息苦しく感じました。最近の韓国ニュースでは、ほとんどの人がマスクをしていました。こちらは、星が見えにくくなるくらいなので、たずかっていますが・・・今後はどうなるか・・・ 昨晚も、何となく、オリオンもかすんで見えにくかったです。

編集後記

平成も今年は20年、そして1年の半分が過ぎると思えば何と時の流れの早いことか。いつも変わらない星を見上げて、過去から未来への時空の世界に思いをめぐらせ、日常を忘れてリフレッシュしようかな。(辺)

広報の活動、ほとんど渡辺さんに頼りっぱなしでした。これからは、そうなるのか分かりませんが、足手まといにならないように、・・・。今年の夏の写真に挑戦しようと思気込んでいます。どうなることやら。みなさんのアドバイスお待ちしております。(新人 広報 石)

科学館で天文台のパネル展示を見ました。移行中も絶え間なく地道に活動が続いているように受け止められました。新しい天文台を心待ちしています。(今)

星見の常識として「夏は山・冬は海」といいますが、山は遠い所が多くガソリン代値上げの為、さらに山が遠くなっていくようです。しかし！環状星雲M57等を観にこの夏も、蔵王に行こうと考えています(伊)